

# 近接性評価割引について

平成27年11月 6 日  
九州電力株式会社

# 1 近接性評価の事務局案の試算結果

- 事務局より提示された近接性評価割引の各案の試算結果は以下のとおりとなります。

数値は3ヵ年平均、税抜き

		区分		試算結果			
		評価地域	割引単価	電力量 (百万kWh)	単価 (円/kWh)	割引総額 (百万円)	託送単価影響 (円/kWh)
案A (申請中)	低圧・高圧	申請地域及び単価		1,448	0.34	492	-
	特別高圧			1,646	0.26	428	
	基幹系			0	0.13	0	
	合計			-	3,094	-	
案B	低圧・高圧	申請地域及び単価		1,448	0.34	492	-
	特別高圧			1,646	0.26	428	
	基幹系	現行地域及び単価		20,353	0.12	2,442	
	合計	-	23,447	-	3,362	0.04	
案C	低圧・高圧	申請地域及び単価		1,448	0.34	492	-
	特別高圧			1,646	0.26	428	
	基幹系	現行地域	申請単価	20,353	0.13	2,646	
	合計	-	23,447	-	3,566	0.04	
案D	低圧・高圧	申請地域及び単価		1,448	0.34	492	-
	特別高圧			1,646	0.26	428	
	基幹系	申請地域 + 既適用電源	申請単価	0	0.13	0	
	合計	-	3,094	-	920	0.01	

上記の割引対象電力量には、会社間連系点での受電分を含まない。

- 近接性評価割引制度については、電源の立地に伴う潮流改善効果をよりきめ細かく評価する観点から、評価対象地域や割引単価の見直しを行っており、当社としては、今回の申請内容が妥当と考えております。
- 事務局の案B～案Dは、きめ細かい潮流改善効果の評価という制度見直しの趣旨に合致しないことや、発電事業者間の公平性が保たれない等の課題があり、いずれも合理的な説明が困難と考えます。